

令和2年度「学校教育アンケート」結果報告

向春の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃は本校学校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、昨年12月に実施いたしました学校教育アンケートに多くの回答をいただき、貴重なご意見を聞かせていただくことができました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見は学校全体で考察を加え、本校の取り組みの成果と課題を検証するとともに、次年度に向けてのさらなる改善のために活用させていただきます。

以下に集計・分析結果をお伝えします。

《記述によるご意見・ご質問に対して》

- ◆ 児童の心を育むために、日常より児童の些細な行動にも目を向け、担任や学年の教師とも連携を図り、早期に対応していきます。
- ◆ 校内の環境整備(特にトイレ掃除)についてのご意見を多数いただきました。コロナ禍によりトイレ掃除が難しい面もありますが、日常の掃除の仕方を改善していきます。
- ◆ 家庭と学校との連携を図るための連絡については、より正確により早くお知らせできるよう努めてまいります。
- ◆ 豊かな人間性を育むために、今後もいじめ予防授業等の心の教育の充実を図り、より組織的な対応をまいります。
- ◆ コロナ禍により学校行事に大幅な変更があり、様々なご意見をいただきました。次年度の学校行事につきましては、児童の安全を第一に考え、より充実したものになるよう検討してまいります。

◆ 次年度年間行事について

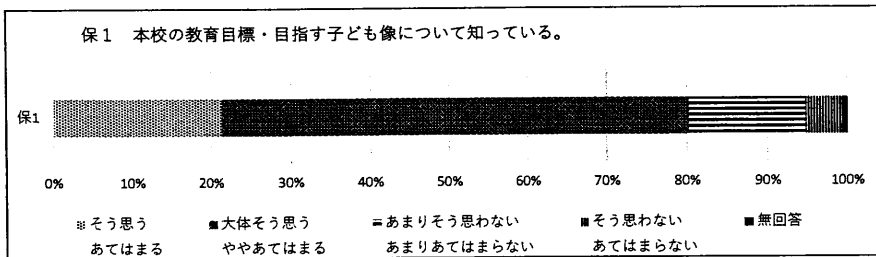
次年度の年間行事予定を早めの3月に配付していることについて、仕事の調整がしやすく、助かっているとのご意見をいただきました。引き続き3月中旬にお知らせいたします。

◆ 課外クラブ・太陽の広場・土曜日の学校開放・わかたけについて

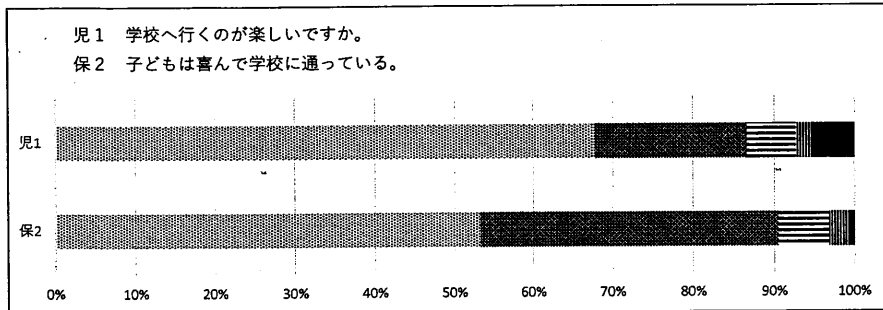
	運営主体	説明
課外クラブ	学校：教育課程外の活動 教育活動の一環として各学校が自主的に実施 教師のボランティアにより運営	子ども達の「やりたい・がんばりたい・もっと専門的に学びたい」という意欲に応えようと本校教職員がチーム作りをし活動している。
太陽の広場	吹田市教育委員会青少年室 →高野台中学校区 地域教育協議会に委託 →フレンドさんによる運営・管理	吹田市では地域の方の協力により「地域の子どもは地域で守り育てる」の視点に立ち、子ども達が安心して安全に過ごせる居場所づくりの一つとして、こどもプラザ事業「太陽の広場」を実施している。「太陽の広場」はフレンドさん(ボランティア)の見守りのもと、運動場での自由遊びを中心として異年齢での交流を図りながら、自主的に活動できる場となっている。
土曜日の学校開放	吹田市教育委員会青少年室 →地区青少年対策委員会が運営・管理	佐竹台地区青少年対策委員会が運営・管理し、子ども達に「生きる力」を育成するため、子ども達の活動の場づくりとして、土曜日の午前中に小学校の校庭を「遊び場」として開放している事業。
留守家庭児童育成室わかたけ学級	吹田市教育委員会 放課後子ども育成室	吹田市では保護者が働いていたり、病気等のため、放課後、家庭に帰っても留守家庭になったりする児童の健全育成を図るため、すべての小学校内に、留守家庭児童育成室を開設している。

※記述によるご意見をいただきありがとうございました。

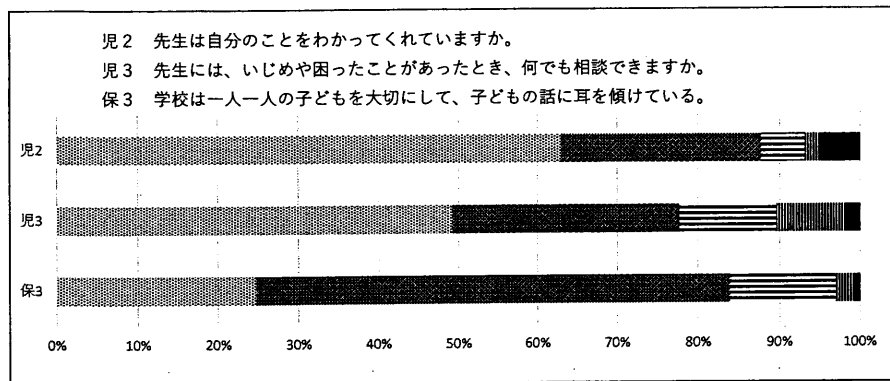
令和2年度 学校教育アンケート集計結果報告



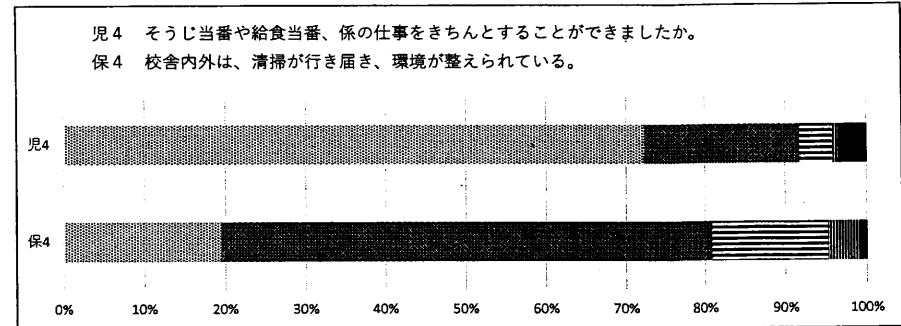
教育目標やめざす子ども像について、約8割の保護者の皆さまの理解を得ましたが、さらに多くの皆様にご理解いただけるように、教職員一同、今後も教育目標実現に向けて、さらなる努力を重ねてまいります。



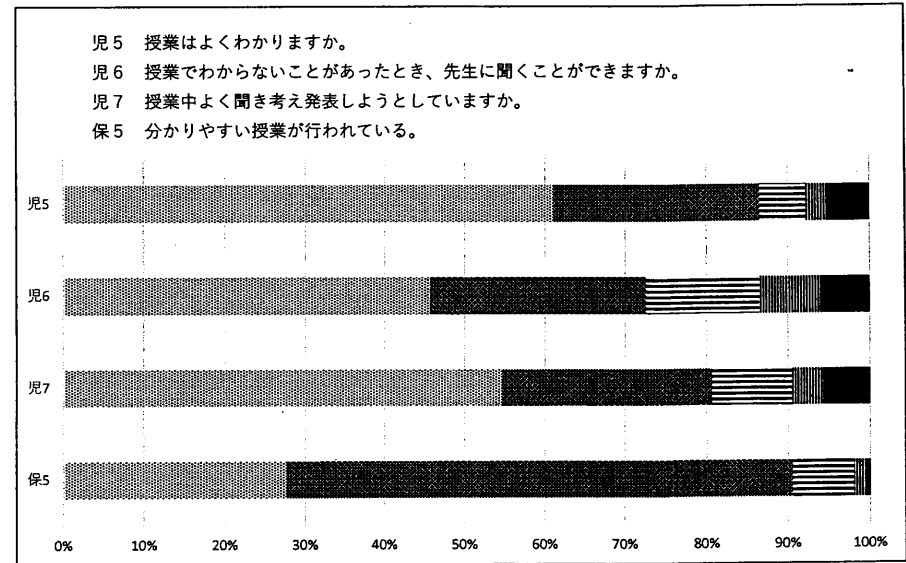
8割以上の児童が「学校へ行くのが楽しい」と回答し、9割以上の保護者の皆さまから「喜んで通っている」と回答いただきました。コロナ禍により様々な行事や活動が中止になり、不安な状況が続いていますが、「楽しい」と感じる児童が「より楽しい」と思える学校をめざしていきます。



昨年よりも多くの児童が「自分のことをわかってきている」と感じており、「相談できる」と回答した児童が増えていました。しかし、前年同様、高学年になるにつれて、相談がしにくいと感じている児童がいる点が気になるところです。多くの教員が積極的に児童と関わり、誰もが安心できるよう、子どもの心に寄り添う指導を目指していきます。

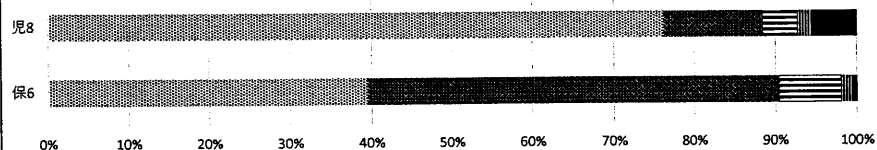


学校教育アンケートの記述においても「掃除について」のご意見が寄せられました。「掃除や係の仕事をきちんとしている」と、9割以上の児童が回答していますが、保護者の皆さまの認識とは、ずれがあるようです。今年度は、コロナ禍によりトイレ掃除ができない部分もありました。よりよい環境づくりをめざし、次年度は、清掃の仕方について改善を検討してや、保護者の皆さまにボランティア活動としてお願いする計画をしております。



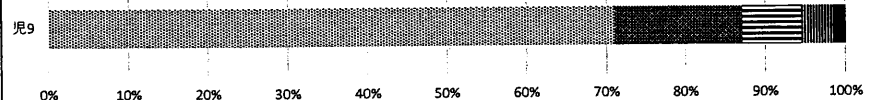
9割近くの児童は「授業はよくわかる」と回答していますが、「質問できる」と回答した児童が7割となっていることが課題です。本校では「子どもが考えたい伝えたいと思える授業づくり」をテーマに国語科を中心とした授業研究を進めています。授業の中で「問い」を持ち、全体で「問い」を共有し、学びあいにより解決していくことで確実に「わかる」といえる授業をめざしています。引き続き、児童が意欲的に取り組めるような授業ができるように研究を深めていきます。

児8 宿題は忘れないよう毎日頑張っていますか。
保6 学校は家庭学習の習慣化を図るために適切に課題(宿題)を出している。



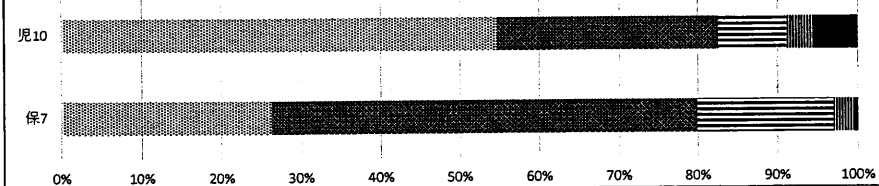
宿題に関して9割弱の児童がしなければならないこととして捉え、きちんと取り組もうとすることがアンケートからわかります。保護者の皆さまからも、多くの方から「適切」と回答いただきました。今後は、一人一台のPC端末も活用した課題についても検討していきます。

児9 読書をするのが好きですか。



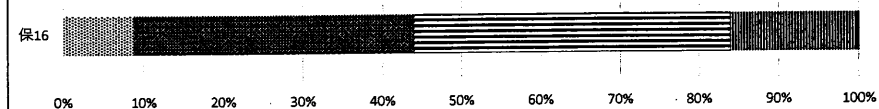
昨年同様、「読書をするのが好き」と答えた児童が9割近い数値を示し、読書をする習慣が身についているように感じられます。今後も読書週間の取組や読み聞かせの充実を図り、保護者ボランティアとも連携し、児童がさらに読書に興味を持てるような手立てを進めていきます。

児10 すすんで元気にあいさつができていますか。
保7 子どもは、家庭・地域であいさつが出来る。



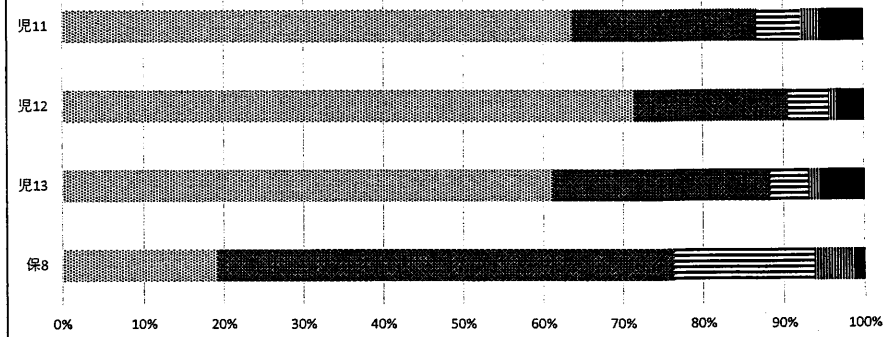
登下校時の挨拶に関して、多くの児童が元気よく挨拶できています。しかし、挨拶は人のつながりの中で大切なことであるため、100%を目指したいと思います。学校生活や児童会のあいさつ運動を通して、児童の中に挨拶をする習慣をつけていき、「あいさつ名人」になれるよう指導をしていきます。ご家庭でもお声かけをお願いします。

保16 学校からボランティア活動の募集があった場合、参加することができる。



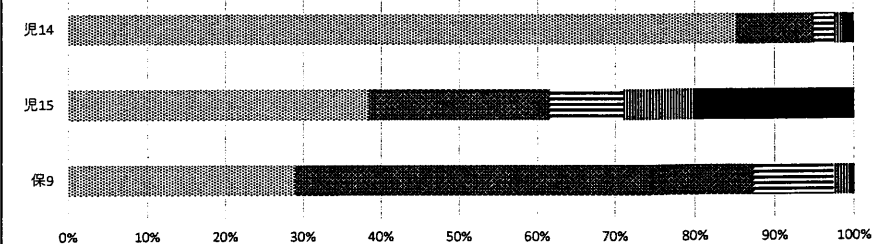
昨年度と同様、半数近くの保護者がボランティアにご協力いただける結果となり、非常に嬉しく思います。コロナ禍のため、今年度はボランティア活動にも制約がある中、ご協力ありがとうございました。次年度も、よりよい学校環境づくりのためのボランティア活動のお願いをする予定にしております。ご支援とご協力をお願いします。

児11 クラスの友だちと助け合ったり、教え合ったりできていますか。
児12 困っている友だちがいたら親切にできますか。
児13 学校やクラスのきまりやルールをまもられていますか。
保8 学校は心の教育・いじめ防止に積極的に取り組んでいる。



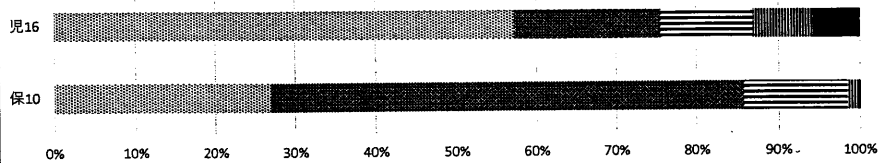
約9割の児童が「友だちと助け合ったり、困っている友だちに対して親切にできる」と回答しています。心の教育・いじめ防止については、いじめ予防授業を全学年で取り組んでいます。しかし、保護者の回答では、肯定的な回答が8割を下回るなど、不十分な結果ととらえています。学校が安心して学びあえる場となるよう、引き続き心の教育に取り組んでいきます。また、いじめに対しては、未然防止、早期発見、早期対応により一層の努力を行ってまいります。

児14 運動会や音楽会、遠足など学校行事は楽しいですか。
児15 児童会行事は楽しいですか。
保9 学校行事・児童会行事・校外学習・体験学習・宿泊学習を通して子どもたちの豊かな心が育ってきている。



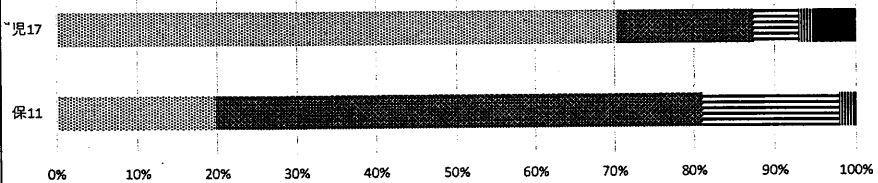
コロナ禍により昨年度に比べて実施できなかった行事が多くありましたが、児童からも保護者の皆さまからも良い回答をいただいています。しかし、児童会行事については取り組むことができなかったものが、多かったため、無回答率が大幅に増加しました。今後、新しい生活様式も踏まえたうえで、よりよい学校行事を行うことができるよう検討していきます。

児16 休み時間に外で遊んでいますか。
保10 学校は健康・体力作りに取り組んでいる。



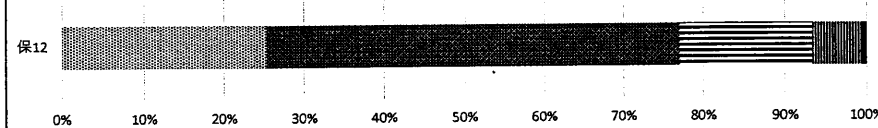
今年度、コロナ禍により「わくわくタイム」が実施できませんでした。また、休み時間に運動場で児童が密になるのを避けるため、3学年ずつに分けて運動場で遊ぶようにしています。児童の回答も昨年度に比べ肯定的な回答が減りました。体力作りや水泳など体育の授業における活動も制限され、マラソン大会も中止となりました。次年度、児童が楽しく体力向上できるような取組を計画・実施していきます。

児17 地震や火事などが起こったときや、知らない人から危険な目にあいそうになったとき、どうしたらよいか知っていますか。
保11 子どもは、自分の身は自分で守ろうとする力が育ってきている。



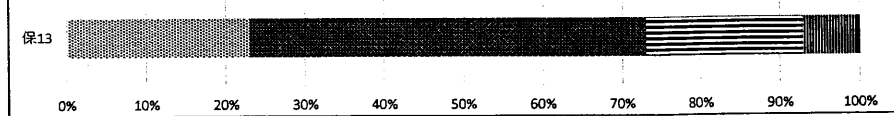
昨年度同様、8割以上の保護者の方から肯定的な回答をいただきました。学校において、地震や台風等の自然災害に対してどのように身を守るのかについて、どのような取組を行っているかを発信していきたいです。PTAより、新たにトランシーバーの寄付をいただいたことで、全教室に配置することができ、緊急時に連携を密に取りながら、子どもたちの安全を守れるようになりました。今後も、学校では【避難訓練・防犯教室・交通安全教室等の実施】また【「災害時のおうちの人との約束」】の作成を継続し、いざというときに「自分の身を自分で守れる力」を育てていきます。

保12 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。



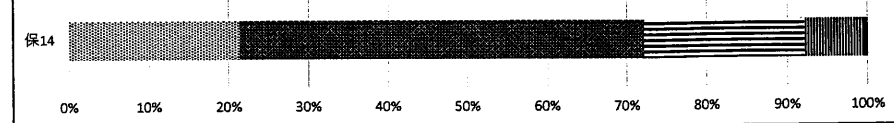
今年度は、コロナ禍により懇談会を設けることができませんでした。8割近くの保護者の皆さまから「意思疎通を積極的に行っている」と回答いただいておりますが、すべての保護者の皆さまから評価していただけるよう、さらに積極的に保護者の皆さまのご意見に耳を傾け、信頼関係を築きながら、互いに連携して児童の指導育成をしてまいります。

保13 学校は、学校の教育活動や子どもの様子について情報提供を行っている。



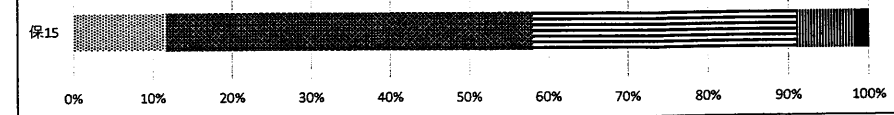
今年度は、新型コロナウイルス関連の連絡等、迅速に対応できなかったことがありました。今後、ホームページの整理を行い、ツイタもんメール等も活用し、必要な情報をより早く、より正確に、皆さまの元に届けられるよう、工夫、改善を行ってまいります。

保14 子育てについて困ったことや悩みがあったときに本校職員に相談できる。



保護者の皆様により気軽にご相談していただけるよう、連絡をより密にし信頼関係の構築に努めます。また、ご相談内容によっては、担任一人に対応するのではなく、学校全体で共有し組織として対応してまいりますので、ご安心ください。

保15 今年度作成の「ようこそ 佐竹台小学校へ」は、役に立つ。



学校生活について、より共通理解をすることができるための資料として作成しています。6割近くの保護者の皆さまから評価していただきました。佐竹台小学校のホームページからご覧いただけますので、今後ご活用ください。